

# チェリストたちの夜会

堤剛

Tsuyoshi Tsutsumi  
©鍋島徳恭

横坂源

Gen Yokosaka  
©Sotaro Goto

上野通明

Michiaki Ueno  
©Seiji Okumiya

運命のチェロ・アンサンブル

## Program (予定)

J.S.バッハ: 無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007  
J.S. Bach: Suite for solo cello No.1 in G major, BWV1007

ボッケリーニ: チェロ・ソナタ ハ短調 G2  
Luigi Boccherini: Cello Sonata in C minor, G2

ソリマ: 野生の樹木園  
Giovanni Sollima: Arboreto Salvatico for 2 cellos

ピアッティ: 2つのチェロとピアノのためのセレナード  
Alfredo Piatti: Serenade for 2 cellos and piano



ボッケリーニ: チェロ・ソナタ ヘ長調 G9  
Luigi Boccherini: Cello Sonata in F major, G9

ムストネン: 3つのチェロのためのトリプティック  
Olli Mustonen: Tryptich for 3 cellos

ポッパー: レクイエム op.66  
David Popper: Requiem, op.66 (for 3 cellos and piano)

シューベルト (J.コワン編): 自然の中の神 D757  
Franz Schubert (arr. Jane Cowan): Gott in der Natur, D757

Cello: 堤剛 スティーヴン・イッサーリス 横坂源 上野通明 Piano: 沼沢 淑音

スティーヴン・  
イッサーリス  
Steven Isserlis

2025 10/17 (金) 7:00PM開演 (6:15PM開場)  
A 4,000円 B 3,000円 C 2,000円 D 1,000円 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口西側/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

10:00AM-5:00PM  
月曜休み※祝日の場合翌日



兵庫県立  
芸術文化センター



20th anniversary

兵庫県立芸術文化センター  
開館20周年

一般発売  
5/18(日)

チケット  
予約

●芸術文化センター 0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp>

芸術文化センター会員先行予約受付開始 5/17(土)

●チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <https://l-tike.com> ●イープラス <https://eplus.jp>

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター【5/20(火)より、残席がある場合のみ】

※未就学児童はご入場いただけません。※フレイグイドでのお取り扱いについては各フレイグイドにお問い合わせください。  
※やむを得ない事情により出演者、曲目等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

# 同時代に生きる4人のトップチェリストによる音の祭典

チェロの音は「人間の声に一番近い」と言われ、幅広い音域と落ち着いた温かい音色は、多くの人を魅了してやまない。今回、チェロ界の巨匠・堤剛をはじめとするトップチェリスト4人がここ芸術文化センターに集結する。80代の堤、60代のイッサーリス、30代の横坂、20代の上野と多世代の4人が運命的に出会い、同時代に共演が叶った奇跡的なアンサンブルである。今や国際的チェリストとして活躍する若手2人にとっては、幼い頃から憧れを抱き、目標にしてきた堤とイッサーリスとの共演となる。この4人は今回それぞれ持ち寄った曲目を吟味し、チェロ1本から4本まで、様々な編成と組み合わせによる唯一無二のプログラムを作り上げた。

チェロ独奏名曲中の名曲J.S.バハ「無伴奏チェロ組曲 第1番」から始まり、チェロの名手で古典派の先駆者とされるポッケリーニのチェロ・ソナタ「ハ短調G2」、「ヘ長調G9」や、イタリアの現代作曲家でチェリストのソッリマがチェロ2台のために書いた「野生の樹木園」、リストが“チェロのパガニーニ”と称したピアッティの名曲「2つのチェロとピアノのためのセレナード」、ピアニスト・指揮者としても活躍するフィンランドのムステネ「3つのチェロのためのトリプティック」、ブラームスとの共演など室内楽奏者としても名高かったポッパーのチェロの嘆きの歌が美しい人気曲「レクイエム」、歌曲王シューベルトのミサ曲「自然の中の神」をチェロ4名編成で至高のクライマックスへと昇りつめる。チェロの世界に魅せられる贅沢な一夜をお愉しみいただきたい。



## 堤剛 (チェロ) Tsuyoshi Tsutsumi, Cello

名実ともに日本を代表するチェリスト。桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園高校音楽科を通じ齋藤秀雄に師事。1961年アメリカ・インディアナ大学に留学、ヤーノシュ・シュタルケルに師事。1963年ミュンヘン国際コンクール第2位、カザルス国際コンクール第1位入賞。これまでに鳥井音楽賞(現サントリー音楽賞)、ウジェーヌ・イザイ・メダル(ベルギー)、モービル音楽賞、N響有馬賞、ウィーン市功労名誉賞、毎日芸術賞(音楽部門)、文化庁創立五十周年記念表彰など多数受賞、表彰されている。2009年秋の紫綬褒章を受章。2013年、文化功労者に選出。2024年11月には、クラシック音楽の器楽奏者として初めて文化勲章を受章した。カナダ・西オンタリオ大学准教授、アメリカ・イリノイ大学教授、インディアナ大学教授を経て、現在桐朋学園大学特命教授(元学長2004~13年)、韓国国立芸術大学客員教授。霧島国際音楽祭音楽監督。サントリーホール館長、日本演奏連盟理事長、日本チェロ協会理事長。日本芸術院会員。

## 横坂源 (チェロ) Gen Yokosaka, Cello

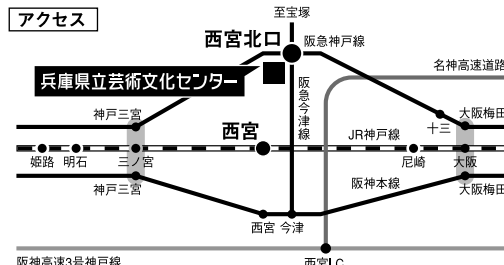
新潟市出身。第59回ミュンヘン国際音楽コンクール・チェロ部門で第2位、第15回出光音楽賞、第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。13歳で東京交響楽団との共演でデビュー。豊かな音楽性やイマジネーションが卓抜したテクニックで表現され、「力強く、豊かで、円熟した音色、そして高い集中力と、何よりも情熱的で生き生きとした演奏」(ハレル・タグプロット)など、各誌で絶賛されている。桐朋学園女子高等学校を卒業後、ソリストディプロマ・コースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。鷲尾勝郎、毛利伯郎、ジャン＝ギャン・ケラスの各氏に師事。録音は、新譜「R.シュトラウス&ラフマニノフ(ピアノ:沼沢淑音)」を含む3枚のアルバムをリリース。現在最も幅広い演奏活動を展開するチェリストの一人である。

## スティーヴン・イッサーリス (チェロ) Steven Isserlis, Cello

イギリス生まれ。現代最高のチェリストの一人として、世界最高峰のオーケストラや指揮者と共演、主要な音楽祭やホールに出演している。HIP(歴史的な奏法)にも強い関心を寄せると同時に現代音楽にも熱心で、数々の新作の初演を任されてきた。レコーディングも数多く、『バハ:無伴奏チェロ組曲全曲』やベートーヴェンのチェロとピアノのための作品全集、ハイドン、エルガー、ウォルトンなどの協奏曲などをリリースし、それらは数々の国際的な賞に輝いている。若い聴衆のための活動にも熱心で、執筆した書は多くの言語に翻訳されている。2022年には『音楽に本気なきみへ イッサーリスと読むシューマンの助言』が音楽之友社から出版された。最新刊は、『The Bach Cello Suites』。また、言葉と音楽による企画やラジオ番組も手掛けるなど活動は幅広い。主な使用楽器は、英国王立音楽アカデミーから貸与された1726年製のストラディヴァリウス「マルキ・ド・コルブロン」。ガット弦を使用している。

## 上野通明 (チェロ) Michiaki Ueno, Cello

2021年ジュネーヴ国際音楽コンクール・チェロ部門日本人初の優勝。その他13歳で若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール日本人初の優勝、ヨハネス・ブラームス国際コンクール優勝など、国際舞台で次々と活躍し話題となる。これまでにワルシャワ・フィル、ロシア国立響、スイス・ロマン管、KBS響、都響、読売日響、新日本フィル等国内外の主要オーケストラと共演。日本製鉄音楽賞(フレッシュアーティスト賞)、ベートーヴェン・リング賞、出光音楽賞、ホテルオーケストラ音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。P.ウィスペルウェイに招かれ19歳で渡独。その後エリザベート王妃音楽院にてゲリー・ホフマンに師事し、アーティストディプロマを取得。楽器は、1730年製A.Stradivarius “Feuermann”(日本音楽財団)、1758年製P.A.Testore(宗次コレクション)、弓はF.Tourte(住野泰士コレクション)をそれぞれ貸与されている。



◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)  
◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)  
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

## 沼沢 淑音 (ピアノ) Yoshito Numasawa, Piano

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマを経て、RMF奨学生としてエリツ・ヴィルサーラーゼ氏のもと2015年にモスクワ音楽院を卒業。「素晴らしい輝かしいピアニストで私は彼の特別な繊細な感受性と音楽への献身に心動かされました」(マルタ・アルゲリッチ氏)と称賛される。シュニトケ国際コンクール優勝、ケルン国際音楽コンクール第3位、第29回ポツォーリ国際ピアノコンクールで優勝、浜松国際ピアノコンクールで特別賞を受賞。2024年4月より桐朋学園大学音楽部門准教授。

